

日本医療教授システム学会(JSISH)  
2014 年度第1回理事会議事録

開催日時:2014 年 3 月 6 日(木)17:30~18:30

開催場所:タイム 24 ビル 第 2 会場(HALL2)

出席者:池上敬一(代表理事)、木村昭夫、石松伸一(以上副代表理事)、  
浅香えみ子、大西弘高、織井優貴子、鈴木克明、武田 聡、  
中西成元(以上理事)、高橋誠治(監事)、村上 聡、  
仁田尾慶太(以上事務局)

欠席者:奥寺 敬、喜多敏博、軍神正隆、澤 智博、中島和江、中村丈洋、  
三上剛人(以上理事)、長坂 浩(監事)

会則 11 条 2 項により、池上代表理事を議長として開会した。

1. 議事録署名人の選出

木村昭夫理事、石松伸一理事が選出された。

2. 審議事項

1)2013 年度事業報告

池上代表理事および事務局より以下の報告があり、承認された。

(1)会員異動報告(2013 年 1 月 1 日~12 月 31 日)

入会:98 名

退会:10 名

2013 年 12 月 31 日付会員数:

個人会員A(医師) 206 名

個人会員B(医師以外) 344 名

学生会員 29 名

合計: 579 名

(参考:2014 年 3 月 6 日付会員数 個人会員A(医師) 208 名、個人会員B(医師以外)  
350 名、学生会員 29 名、合計: 587 名)

(2)第 5 回総会

2013 年 3 月 7 日(木)~9 日(土)

会場:学術総合センター

会長:浅香 えみ子(独協医科大学越谷病院救命救急センター)

参加者:298 名

(3)『医療職の能力開発』

vol.2-1 は 3 月に発行済で、会員はオンラインジャーナル無料閲覧可能(会員番号、PW でログイン)。本年度は vol.3-1 発行のための編集作業を進めた。

(4)各種委員会報告

a.編集委員会

JJHPE 編集・刊行

委員会開催 2 回

b.教授システム開発委員会

事例研究会開催

委員会開催 1 回

c.教育・トレーニング委員会

トレーニング普及・病院トレーニングサイト構築

委員会開催 1 回

(5)ISD/Research 事例研究会

随時開催

(6)ID 基礎セミナー

日時:2013 年 8 月 2 日(金)

場所:新宿・ファイザー製薬本社

(7)ARCS/ISD セミナー

日時:2013 年 8 月 3 日(土)~4 日(日)

場所:新宿・ファイザー製薬本社

(8)JSISH ワークショップ:「演劇」で IPW を学ぶ! 第 3 弾

日時:2013 年 12 月 8 日(日)

場所:東京大学医学図書館 3 階 M1 室

(9)シミュレーション・サミット 2013 年冬ツアー

2013 年夏

日時:2013 年 6 月 13 日(木)、14 日(金)

場所:SimTiki(ハワイ大学医学部シミュレーションセンター)

2013 年冬ツアー

日時:2013 年 12 月 11 日(水)、12 日(木)

場所:SimTiki(ハワイ大学医学部シミュレーションセンター)

2)2013 年度収支決算報告

池上代表理事および事務局より、2013 年度収支計算書および 2013 年 12 月 31 日現在の貸借対照表・財産目録につき説明があった。

続いて、高橋監事より、長坂 浩監事とともに会計監査を行い、決算が適正であった旨の監査証明書が示され、決算案が承認された。

3)2014 年度事業計画案

池上代表理事より提案があり、以下のように了承された。

(1)第6回総会

日程:2014年3月6日(木)~8日(土)

会場:タイム 24 ビル

会長:河野 龍太郎(自治医科大学医学部メディカルシミュレーションセンター)

(2)編集委員会

a. JJHPE の vol.3-1 を 5 月、vol.3-2 を 12 月に刊行

(3)教授システム開発委員

a. ISD/Research 事例研究会を、2 か月に 1 度開催

b. 開催場所は東京だけでなく、各地域で開催

(4)教育・トレーニング委員会

a. 問題が発生したときだけ委員会を開催するので、特に予定なし

(5)日本シミュレーション医療教育学会との合同企画

a. 秋頃に 1 日間で合同開催の研究会の開催

b. 資格制度を作成

(6)会員数の増強、会員へのサービス強化

a. ニュースレターの発行

b. iOS デバイスを通じて、学会で発表したスライドの提供

#### 4)2014 年度予算案

池上代表理事および事務局より予算案について説明があり、承認された。

#### 5)役員改選について

池上代表理事より、2 月に行った役員改選のアンケート結果について報告があり、続いて新任理事について審議を行った結果、2014 年度～2016 年度の役員構成は以下になるとの確認があり、了承された。

##### 代表理事

池上 敬一(獨協医科大学越谷病院救命救急センター)

##### 副代表理事

木村 昭夫(国立国際医療センター救急部)

石松 伸一(聖路加国際病院救急部・救命救急センター)

##### 理事

鈴木 克明(熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻)

喜多 敏博(熊本大学 e ラーニング推進機構)

澤 智博(帝京大学医学部麻酔科学)

浅香 えみ子(獨協医科大学越谷病院救命救急センター)

武田 聡(東京慈恵会医科大学救急医学講座)

奥寺 敬(富山大学医学部救急災害医学)

軍神 正隆(東京大学医学部附属病院救急部)

中島 和江(大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部)

中村 丈洋(香川大学医学部形態・機能医学講座脳神経生物学)

大西 弘高(東京大学医学教育国際協力研究センター)

織井 優貴子(青森県立保健大学大学院健康科学研究科)

三上 剛人(学校法人吉田学園医療歯科専門学校救急救命学科)

(新任)岩本 由美(広島文化学園看護学科)

(新任)高村 昭輝(三重大学医学系研究科家庭医療学講座・伊賀地域医療学講座)

##### 事務局長

(新任)松木 蘭 和也(南九州医療センター内科)

##### 監事

高橋 誠治(日本歯科大学歯学部・歯科麻酔・全身管理科准教授)

長坂 浩(明海大学歯学部総合臨床医学講座麻酔学分野教授)

また、理事候補の井田雅祥先生の審議については保留とし、経歴書を受領後に持ち回り理事会で審議することとし、社会一般的に定年を迎えた役員の先生方には退任をお願いすることとし、了承された。

#### 6)評議員会(仮称)設置について

評議員制の導入および選任方法、役割等について討議を行った。

今後のプロセスとして、以下 3 点を確認した。

##### (1) 評議員のタスク

- a. 地域、組織内、院内で JSISH のミッション・事業を普及
- b. 教授システム開発
- c. 地域支部の活動

(2)ワーキンググループ(メンバー:浅香(委員長)、木村、石松、大西、鈴木、奥寺、武田の各理事)で制度の骨格を策定する。

(3)2014年7月にルール決定、8月以降に募集し、12月中に評議員を選出、2015年の第7回総会時に第1回の評議員会を開催する。

7)第7回日本医療教授システム学会総会(2015年)およびその後の事業計画について池上代表理事より、以下の報告・提案があり了承された。

(1) 総会開催のスキーマ

a. 予算

b. アドホック準備委員会、大会長推薦、理事長承認

1. 卒前教育、卒後研修、総合救急・プライマリ、シミュレーションセンター、学生など

c. 準備委員会 4月、9月

(2) 第7回総会について

会長: 鈴木克明先生(熊本大学大学院社会科学研究科教授システム学専攻)

会期: 2015年3月5日(木)~6日(金)、併設コース7日(土)

会場: 学術総合センター

(3) 第8回総会について

会長 奈良信雄先生(東京医科歯科大学 医歯学教育システム研究センター)※打診予定

(4) 学術集会補助金捻出方法

a. 具体的な方法の概要は以下の通り

- 今後、製薬会社等の寄付や展示による収入を当てにできない
- これまでの総会運営費はおおむね600万円となっている
- 第5回総会の参加者数を参考に300名の加を見込むと参加費300万円が収入として見込める
- 学会として600万円-300万円=300万円の捻出が課題
- JSISH主催の研修・コースを開催、その参加費(目標は300万円を目処)を総会運営費に当てる
  - 研修・コース開催のアイデア・主催を理事に依頼する(できる範囲で担当して頂く)
  - 研修・コース開催をNPO・CATS(NPO法人・救急医療の質向上協議会)に運営委託し、参加費から事務手数料を抜いた額を寄付

b. 会費は委員会活動や会員の活動(研究費)に使用

c. 会場費の節約

8) 支部設置について

池上代表理事より、おもと会教育研修センターから沖縄支部設立要望があったと報告があり、審議の結果、沖縄支部設置が承認された。

また、シミュレーションセンターの一定のグローバルスタンダードの基準を策定するワーキンググループが提案され、武田理事(委員長)、万代会員(岡山大学)、白井会員(千葉大学)、阿部会員(東京医大)のメンバーで行う事が了承された。

8) その他

大西理事より、シミュレーション教育の模擬患者向けのコース設置について提案があり、検討していく事となった。

以上